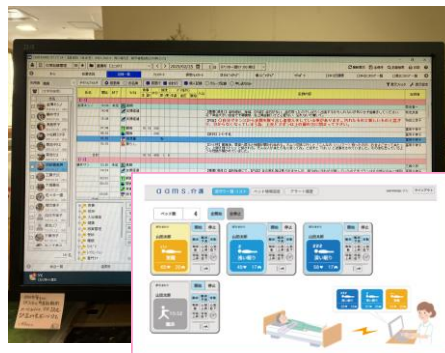


特別養護老人ホーム遠野長寿の郷

法人名	社会福祉法人とおの松寿会
サービス種別	介護老人福祉施設
所在地	岩手県遠野市
利用者数	100名
従業員数	82名（常勤60名/非常勤22名）



①生産性向上の取組

テクノロジー導入による業務効率化

②職員の待遇改善に係る取組

介護助手の活用での時間外労働減縮

③人材育成に係る取組

プロジェクトによる改革推進

主な課題	テクノロジーが導入されておらず、 重複作業や紙媒体での情報共有 が多かった。		入所者の重度化により介護職員の 時間外労働と心身の負担 が増えていた。		経営課題や介護現場の課題などに対し、 組織的に解決する仕組み がなかった。	
取組開始時期	令和4年4月～		令和4年4月～		令和4年4月～	
取組の内容	✓ 介護現場のタイムスタディ調査を実施し、間接的業務、直接的業務、その他業務の割合を分析 ✓ ICT機器を導入している先進施設を見学、機器の選定 ✓ ICT機器導入を前提に全館Wi-Fi環境の再構築工事 ✓ 記録から請求まで一気通貫のソフトに切り替え ✓ シートセンサー型見守り機器と見守りカメラを一部居室に導入		✓ 介護現場のタイムスタディ調査と時間外労働の時間と内容の調査・分析 ✓ 移乗用リフトと福祉用具を活用したノンリフティングケアの実践 ✓ 朝食・夕食の時間帯を中心に介護助手の活用による業務改善 ✓ 介護記録用の端末の増数 ✓ 寝具をワンタッチシーツに変更し、交換作業時間の短縮 ✓ 高性能オムツに見直し		✓ 管理者、主任をメンバーとする経営改革室の設置 ✓ 全職員から課題のヒアリング、課題の整理・分析・ロードマップ策定 ✓ 生産性向上/ブランディング/財務戦略の3つの柱で取り組み推進 ✓ キャリアパス制度、1on1の実施、成長計画策定による人材育成の仕組みづくり ✓ 定期的な社風調査の実施による現状把握 ✓ 左記、2つの取組も推進	
取組前後の成果指標	夜間帯の訪室回数 入所者の初期情報入力	600回 → 536回 2回 → 1回	職員1人当たり月平均時間外労働時間 1ベッド当たり寝具交換時間 1日当たりオムツ交換平均回数	3.85時間 → 3.45時間 10分 → 5分 315回 → 245回	離職率の低下※1 人材採用人数 1on1実施 休止中のグループホーム 特定施設を一般型に転換	12.35% → 6.36% 12人 → 22人 年0回 → 年2回 R7.4再開 R7.9から
負担軽減・満足度指標	腰痛ありの職員割合 心理的ストレスを感じている職員割合 常勤職員平均月額給与（手当除く） 社風アンケート調査の結果 ICT機器導入による効果		72% (R3) → 65% (R6) 33% (R3) → 23% (R6) 37,000円程度UP (R3→R6) 24/30項目で肯定的な回答が増加（※別紙参照） 効果ありの回答が増加（※別紙参照）			

※1 法人全体の離職率でR5とR6で比較